

## 中国 5 県新型コロナ対応緊急支援助成

### 公 募 結 果

#### ■ 概要

選考結果	不採択
団体名	一般社団法人福祉キャリアセンター
代表者名	岡田敬之
申請事業名 主題	広島県外国人支援ネットワーク構築事業
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	【広島県】 外国人就労・居場所支援
解決すべき社会課題	【領域】 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 【分野】 ④ 働くことが困難な人への支援 ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援
申請事業の概要	当法人においては、専門学校からの依頼により専門学校に入学する学生を支援するためのスマホアプリを開発済みである。このアプリに、新型コロナの影響を受けて困っている外国人材が無償で登録でき、必要な支援を受けることができる相談窓口機能を新設することによって、まずは、①支援が必要な外国人材に登録してもらい、連絡手段を確立。次に、②医療機関等への相談が必要なケースについては、医療相談を受けることができる相談窓口を紹介する。さらに、③福祉人材としての就職希望があれば当法人のネットワークを用いて紹介等を行うとともに、④その他分野での支援を要する場合は、広島県内の他の支援団体に支援を要請する。
事業実施地域	広島県
申請事業期間	2020年10月～2021年9月
申請助成額	3,192,500円 【内訳】直接事業費 2,592,500円、管理的経費 600,000円

#### ■ 審査コメント

- ✓ 5000人のアウトプットをどのように達成するのかが読み取れない
- ✗ ツール作り、仕組みづくりは評価できるがその先のサポートの具体性について、もう少し解像度をあ

げてほしい。課題の見える化については評価できる

- ✓ アプリ関連の費用が多く、予算配分に疑問が残る
- ✓ 課題を把握するうえでアプリの開発については評価できるが、緊急性の面で趣旨と異なる

## 中国 5 県新型コロナ対応緊急支援助成

### 公 募 結 果

#### ■ 概要

選考結果	不採択
団体名	株式会社吉田
代表者名	吉田高宏
申請事業名 主題	外国人就労者の日本語学習支援
申請事業名 副題	
エリア／テーマ	【広島県】 外国人就労・居場所支援
解決すべき社会課題	【領域】 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 【分野】 ④ 働くことが困難な人への支援 ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	近年、外国人就労希望者が急激に増えてきているが、外国人労働者にとって最も大きな問題は、日本語能力である。特にコミュニケーションの面では、日本特有の文化の理解が難しく、就職活動や就労の妨げになっているように思われる。また、やさしい日本語で説明しても本質の理解には程遠いことが多く、それを補うために各々の母語で学ぶことができれば、大きな理解の手助けになるのではないかと思われる。当センターではベトナム語、中国語、韓国語、英語による日本語指導が可能であり、日本語の習得以外でも様々な問題・悩みなど幅広いサポートに取り組んでいく。
事業実施地域	広島県
申請事業期間	2020年11月～2021年10月
申請助成額	2,918,500円 【内訳】直接事業費 2,468,500円、管理的経費 450,000円

#### ■ 審査コメント

- ✓ 外国人の就労支援は評価できるが、通常事業との差が分からない
- ✓ 通常事業と申請事業の差が分からない

- ✓ 必要な活動であることは理解できるが、実施内容や支援対象者が団体の関係者によっていると感じる
- ✓ 申請団体も困難な状況にあるかもしれないが、まずは手の届く範囲から着実に実行し、成果を積み上げながらより多くの方を支援できるように展開していただきたい

## 中国 5 県新型コロナ対応緊急支援助成

### 公 募 結 果

#### ■ 概要

選考結果	不採択
団体名	一般社団法人広島湾岸地域資源ネットワーク
代表者名	胡子和子
申請事業名 主題	地域のオンライン「居場所」創出事業
申請事業名 副題	江田島地域の新しい多文化共生拠点の試み
エリア／テーマ	【広島県】 外国人就労・居場所支援
解決すべき社会課題	【領域】 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 【分野】 ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援 ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	本事業では新しい生活様式をと入れた外国人と日本人の新しい「居場所」を作ることを目的とし、オンラインを使った外国人と日本人の交流の場を提供する仕組みを作る。対面時とは違いオンラインではコミュニケーションのツールとしてある程度の日本語力が必要になる。そこで日本語力の低い外国人にはオンデマンドの初級レベル「日本語学習講座」を開発する。また日本人にはオンラインの「やさしい日本語講座」を開発し、外国人と接する際の心の負担を軽減する。それぞれの講座で学んだことを交流の場である「居場所」で発揮して、コミュニケーションを通しお互いを理解し地域の多文化共生社会をつくる一助とする。
事業実施地域	広島湾を中心とした広島県
申請事業期間	2020 年 10 月～2021 年 9 月
申請助成額	3,205,000 円 【内訳】直接事業費 32,925,000 円、管理的経費 280,000 円

#### ■ 審査コメント

- ✓ H25 年の殺傷事件から、地域の人たちにとっては他人ごとではないことは十分に理解できる

- ✓ 日本語教育の教材についてはいろんなものが出ているので、開発だけではなく上手く活用する方法も探してほしい
- ✓ 草の根的に実施している印象をうける。助成金など資金を入れての事業展開が読み取れない
- ✓ ファシリ、交通費で 150 万となっているが、組織の運営状況と規模感、会計書類の不備などから、経営や継続には課題を感じる
- ✓ ファシリに予算を振っているが、実際にニーズがどれくらいあるか読み取れない
- ✓ 地元住民への教育機会の提供という視点は評価できる
- ✓ 日本語教室の教師の視点で、現在の教材が十分でないということだが、十分でないということの理由や開発する教材で十分であるということの理由が読み取れない
- ✓ 地域に根差した活動は評価できる

## 中国 5 県新型コロナ対応緊急支援助成

### 公 募 結 果

#### ■ 概要

選考結果	不採択
団体名	株式会社 dium
代表者名	梁燦宇
申請事業名 主題	dium 日本語会話教室
申請事業名 副題	dium インフルエンサー勉強会・交流会
エリア／テーマ	【広島県】 外国人就労・居場所支援
解決すべき社会課題	<p>【領域】</p> <p>1) 子ども及び若者の支援に係る活動</p> <p>2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動</p> <p>3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動</p> <p>【分野】</p> <p>② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援</p> <p>③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援</p> <p>④ 働くことが困難な人への支援</p> <p>⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援</p> <p>⑥ 地域の働く場づくりの支援</p> <p>⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援</p>
申請事業の概要	<p>・日本語教室事業を、コロナ渦でも継続可能なオンラインへの転換を図るとともに、より多くの在留外国人の日本語レベルが向上のため、海外でのボランティア活動経験や日本語教育指導機関での経験を持ち、志を同じくする者や、日本での生活を豊かに生きているベテラン在留外国人との協働により実施する。</p> <p>・従来の日本語教育システムに捉われず、コロナ渦により海外での活動中止を余儀なくされた若者たちをターゲットに、YouTuber やインスタグラマー・ブロガーなどのインフルエンサーの育成を図り、在留外国人の生活をより豊かにするため、生活を彩る多種多様なコンテンツの情報発信が行われるよう、人材育成事業を行う。</p>
事業実施地域	全国
申請事業期間	2020 年 10 月～2021 年 3 月

申請助成額	3,000,000 円 【内訳】直接事業費 3,000,000 円、管理的経費 0 円
-------	--

## ■ 審査コメント

- ✓ 当事者目線から事業提案は評価できる
- ✓ 助成額が高いのでアウトカムアウトプットはきちんと示す必要がある
- ✓ 当事者目線や若者目線といった課題認識や活動については興味深い
- ✓ 具体的な事業内容がイメージできなかった
- ✓ 実施事業にふさわしい費用構成になっているかわからなかった
- ✓ 教育の観点でいうと、だれかと話すことはわかるが具体的に何をおこなうのか理解できなかった
- ✓ インフルエンサーを育て、広げ、世間の理解や共感を深める視点は評価できるが、その手段について読み取れない

## 中国 5 県新型コロナ対応緊急支援助成

### 公 募 結 果

#### ■ 概要

選考結果	不採択
団体名	市民グループええじゃん(Asian)
代表者名	栗林克行
申請事業名 主題	「外国人の就労・定住」伴走支援事業
申請事業名 副題	dium インフルエンサー勉強会・交流会
エリア／テーマ	【広島県】 外国人就労・居場所支援
解決すべき社会課題	<p>【領域】</p> <p>1) 子ども及び若者の支援に係る活動</p> <p>2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動</p> <p>3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動</p> <p>【分野】</p> <p>① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援</p> <p>② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援</p> <p>③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援</p> <p>④ 働くことが困難な人への支援</p> <p>⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援</p> <p>⑥ 地域の働く場づくりの支援</p> <p>⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援</p>
申請事業の概要	<p>I、就労支援：関係団体（日本語塾、人材紹介業者、労働者支援団体等）と連携しながら、外国人個々の事情に応じた就労支援を行う。例：①技能実習生や留学生の特定技能への移行支援、②在職者や求職者と①の者のキャリアアップ（例：自動車学校でのホークリフト運転教習に同行通訳等）と転就職支援（情報収集・整理、履歴書・面接トレーニング、住居確保等）</p> <p>II、居場所作り：①SNS等での生活情報の提供、役所の窓口等への同行支援、②日本人社会（町内会、PTA、職場等）の見える化のための多言語ガイドブック作成、③内陸部に住み働く外国人の近くに設けた交流の場での生活サポートと情報提供</p>
事業実施地域	広島県西部地域

申請事業期間	2020年10月～2021年9月
申請助成額	1,523,400円 【内訳】直接事業費 1,223,400円、管理的経費 300,000円

## ■ 審査コメント

- ✓ 取り組み内容については共感できる
- ✓ 助成金が入るとエビデンスの管理なども含めて様々な事務が発生することから、適切な事務処理などを行える体制になっているか疑問
- ✓ 現場の活動を優先していることは評価できる
- ✓ 書面から読み取れる範囲では、助成金を十分に処理できるか読み取れない。採択した場合は事務局のサポートが必要だと考える
- ✓ 今回の趣旨に照らすとややずれているように思える
- ✓ 任意団体としての15年以上の実績については高く評価できるが、本助成において求められる組織の体制やガバナンス・コンプライアンスについては不十分
- ✓ 今後も助成金などに申請することを検討しているのであれば、法人化を目指す必要はないが、ある程度の事務局体制、ガバナンス・コンプライアンスの整備、情報発信などの組織基盤強化を期待する